

六年八月十日乙酉賀州龍谷寺正珍蠟燭五十挺御返事。』と見える。この龍谷寺は、寶永誌に能美郡粟津領の内に龍虎寺があつたと記し、それを三州名蹟志にりやうこく寺に作つてあるのを引いて、それであらうと加賀志徴には論じてある。

リュウゴジ 龍護寺 羽咋郡酒見に在つて、曹洞宗に屬する。應永二年貝林僧籍これを創建し、その師實峰良秀を開山と仰いだもの。能登名跡志に、『龍護寺とて禪宗あり。五百羅漢の木像安置也。又境内に龍護水とて冷水あり。此水にて作れる美酒村に在り。』と記する。

リュウコツシャ 龍骨車 田地に揚水する爲に用ひる器具。大聖寺藩では、天和二年初めて之を大坂から取寄せ、今井儀左衛門・東野潮兵衛二人をして之を試みしめたとの記録がある。

リュウゴン 隆嚴 ↓シラヤマキ 白山記。

リュウザン 隆山 河北郡北中條眞宗東派本福寺壽靈の弟で、談義に長じ、寮司に進み、加賀法論の際はお頼み方に屬した。文政十二年九月四日寂。

リュウザンジ 龍山寺 鳳至郡穴水なる大町の内の小字。

リュウジマ 龍島 鳳至郡の海上に在る七つ島中の一つ。享保の書上に『りう島、高さ十七間程、長さ十五間程、幅七十六間程。此島之内よもぎ・かや生申候。かりまた島より海上一町程。』とある。

リュウシヨウジ 龍昌寺 金澤裏五十人町に在つて、五雲山と號し、曹洞宗に屬する。初め小松八日市町に建立し、丹羽長重の菩提

所であつたが、後に大破したので、元文三年金澤に移轉を許され、當時の住持牧庵の師たる寶圓寺十三代全源亮菴を仰いで開山たらしめた。世俗この寺を猫寺といふは、四代大信の時、夢に一猫の死んだことを感知し、依りてその遺骸を葬つたに起り、爾後多く猫をここに埋瘞するものあるによる。

リュウシヨウジ 龍松寺 河北郡龍家に在つて、眞宗東派に屬する。もと道場であつたが、明治十二年六月寺號の公稱を許された。

リュウシヨウソケイ 龍松祖溪 曹洞宗の僧。初め永光寺に磐山紹瑾に參し、その命によつて明峰素哲の法を嗣いだ。加賀の檀越放生寺を創め、明峰を仰ぎて開山とし、龍松をして二代に居らしめた。

リュウスイグオン 龍睡愚穩 金澤曹洞宗天徳院二代の住持。南山老人と號する。加賀の人。幼年州の常松寺に薙髮し、遂に遊方して諸所の哲匠に參し、崇光及び龍門に出世し、次いで黄檗の隱元に従うたが、異言通ぜず、三年を経て所入しなかつた。偶天徳院席を空しうしたので、入つてその二代を董し、元祿元年二月晦日寂した。

リュウセキ 龍石 能美郡寺井の俳僧。諱は兼圓。諸國に行脚し、伊勢朝熊山の麓西行庵に在ること六年。後同國桶部の里に移り、寛政四年故郷に歸つてふるさと集を編し、また伊勢に去つた。

リュウセンイン 柳泉院 羽咋郡酒見に在つて、眞宗東派に屬する。寺記に慶安元年羽咋本念寺の宣證が茲に退院したに初るとある。明治七年無檀無住の故を以て廢せられ、十二年更に本念寺支坊と改稱した。

リュウゼンジ 立善寺 鳳至郡浦上に在つて、眞宗東派に屬する。

リュウソウジ 立像寺 金澤野田寺町に在つて、妙布山と號し、日蓮宗に屬する。天正中日治之を河原町に創立したが、後今の地に轉じた。

リュウソウジ 立像寺 能美郡小松東町に在つて、玉樹山と號し、日蓮宗に屬した。慶長三年日承之を創立し、壽福院夫人の位牌を安置したが、明治の末葉廢滅に歸した。

リュウソウジ 龍藏寺 石川郡石切小原の内にあつた。白山宮莊嚴講中記録に、文明六年十月廿四日小原山龍藏寺の白山拜殿に於いて狩野伊賀入道が切腹したことを記して居る。

リュウダイミヨウジン 龍大明神 鳳至郡龍(今の鮭尾)にあつて、今は龍神社と稱する。能登名跡志に、『龍村は鶴川の上三里にありて、此奥山より流出で、一の瀧・二の瀧とて二つあり。昔此瀧に大蛇住みて人を取喰ふ。大穴持命是を退治あつて、其靈を龍大明神といひて、此の瀧の本に社あり。此所の氏神也。毎年十一月廿八日祭禮にて、此の瀧坪に俎板といひてあり。此石上に鮭の魚二尾自ら上りて、死して浮び流るゝ也。是を取りて食へば癩病になるといひて、人恐れて不喰。是昔の人御供の代の生費也といへり。』と記する。

リュウタクイン 龍澤院 富山藩主第十代前田利保の法號。詳しくは龍澤院雲巖良瑞大居士。

リュウトウ 龍燈 能登國の所々の社寺に龍燈が揚るとの傳説がある。寶永元年十一月羽咋郡大福寺の使僧覺山が藩の社奉行に對する答申に、『大福寺に龍燈揚り候儀、金龍山

と申山大福寺より三十町程御座候。其山に觀音堂御座候。其頂上に六月十七日の晚龍燈揚り申儀、六七年以前に拙僧致拜見候云々。龍燈上り様之儀、北之方海上より小提燈程に相見え、右山近邊迄參消申候。其後は見不申候。』など、見える。

リュウドウケン 龍洞軒 江沼郡分校にその遺址がある。那谷明王院日記に、『正月末つかた分校龍洞軒へ申遣しける。さえかへり猶ふる雪のした庵を人こそ問はね君おもひやれ 尊依。』と見え、尊依は永祿二年薨化した人である。

リュウトウザキ 龍燈岬 ジョウト 鳳至郡前波部落の東方なる岬。

リュウトクイン 龍徳院 富山藩主第六代前田利興の法號。詳しくは龍徳院天澤良恩大居士。

リュウトクジ 龍徳寺 金澤六斗林に在つて、雲起山と號し、曹洞宗に屬する。正保四年恕龍の開基で、天徳院二代龍睡を開山とした。後一時無住となり、天徳院五代良因再興し、文化十二年住持破戒の罪によつて、磔刑に處せられたが、寺號は繼續することを得た。

リュウトクジマチ 龍徳寺町 金澤の舊町名。元祿九年の地子町肝煎裁許附に、『泉寺町・龍徳寺町・長國寺町』と並べ載せてある。今はその名絶えたが、龍徳寺の前通を呼んだのであらう。

リュウトスイ 龍吐水 加賀藩で火災の際消防に龍吐水を用ひることは、文化十三年を以て初とする。同年六月八日附の文書に、『火事之節大家に而者火勢高く、盛に燃付候而者、町夫水持共防方不行届儀に付、此度町々水旗